

山海平野！ToMo 区分会報

2022 年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2022 年 4 月 1 日（金）発行 第 20 号

4 月 行 事 予 定

- 4 月 3 日（日） GH ミーティング（明日へ）
- 4 月 6 日（水） 工賃支給日
- 4 月 9 日（土） 法人休業日
- 4 月 10 日（水） GH ミーティング（なのか）
- 4 月 12 日（火） 防災訓練（ALL ハウス・つばさ）
- 4 月 13 日（水） 防災訓練（ToMo ハウス）
- 4 月 17 日（日） GH ミーティング（かけ橋）
- 4 月 24 日（日） GH ミーティング（そら）
- 4 月 26 日（火） 防災訓練（えーる）

「社会福祉道南福祉ねっとは、『障害のある人が住みよいまちは、だれにとっても住みよいまち』共に働き共に楽しむ、障害の有無にかかわらずそれぞれが持てる力を発揮して、心豊かに安心していきでけるまち、人権が何より大切にされるまちの創造」（ホームページより）を目指しています。

ここでは、私たち「ALLハウス」＝就労支援B型作業所の活動紹介をします。

日頃の作業としては、地域の水産加工食品のダンボール部品の組み立て、シール貼り付けなど、冬場の除排雪作業、少し暖かくなってからは、地域の清掃活動や草刈り作業、そして、各種リサイクル活動への協力などを行っています。

また、時々楽しい行事にも取り組みます。今年2月3日には寿司レクリエーション、2月10日には、道の駅男爵クラブの弁当を取り寄せ、みんなと楽しくいただきました。その当時は、飲食店には、こちらから団体で出かけていくのは自粛期間であるため、取り寄せの方法をとった次第です。みんなの評判は上々でした。春、4月からは外出も緩和されることを皆楽しみにしています。

これからも福祉のまちづくりの一員として、「地域と共生するとはどういうことだろうか？」と、いつも問かけながら、仲間たちと格差社会等の問題提起を続けて行きたいと思います。

先日3月11日午後2時46分にみんなで黙とうしました。東日本大震災から11年目死者、行方不明者が多数出た悲しい出来事でした。最近はまだ、大きな地震があり防災対策に一層目を向けていざという時に備える準備をしましょう。

文責 支援員 中野郁郎



山海平野！PORT 区分会報

2022年度 社会福祉法人道南福祉わっと 2022年4月1日(金)発行 第20号

4月行事予定

4月 6日(水) 工賃支給日
4月 9日(土) 法人休業日
4月29日(金) 昭和の日/事業所休み

桜の開花宣言や満開の公園の様子等、春を訪れを告げる内容がテレビの画面で沢山見ることが増えましたね。新年度を迎えワクワクしたりうきうきすることが多いはずですが、コロナウイルスの感染者数の高止まり、はたまた第7波、リバウンドのニュースなどまだまだ油断できない状況が続いています。

4月からは、「ウィズコロナ」を意識して、これまで同様コロナ感染者が出ることがないように、今まで以上に「手を洗った?」「アルコール消毒はした?」「そろそろ窓開けて換気する?」など日々感染対策に取り組み過ぎていきましょう。我慢の多い日常から、徐々に買い物や散歩等自由にできることも増えるように法人でも考えているので、楽しいことも多くなりますよ。

シール貼り作業頑張ってます!!

先月から「又蔵さんち」の作業に、企業からの受注作業で「シール貼り作業」が加わるようになりました。薄いプラの容器に、一枚ずつシールを貼っていく作業です。シールの数と容器の数を始める前に確認したり、一枚ずつになっているか確認して、その次に空気が入らないように且つ曲がらないようにと、かなり慎重になる作業です。その数 5000 枚! 入荷してから納品するまで約 2 週間くらいはありますが、みんな頑張っています。

作業の様子などを画像でお見せします。



衛生面には注意して、ヘアークャップに手袋を必ず身につけるようにしています。プラスチックの蓋を一枚ずつ確実にはがす担当者、シールを貼る担当者のペアを組んで作業しています。



最後には、空気の入りがないかのチェックを職員が丁寧に確認し完成となります。

「風水害の災害時の避難経路の確認」

地域の防災無線等で避難指示が出されたことを想定し、避難経路の確認を行いました。「又蔵さんち」から避難場所の「大野農業高校」まで、徒歩での避難と車での避難、コースも2通りで行いました。徒歩はちょっとした運動気分でした。



文責 主幹 慈道博子

山海平野！WORK 区分会報

2022 年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2022 年 4 月 1 日（金）発行 第 20 号

4 月 行事 予 定

4 月 4 日：保健衛生・防火防災点検
4 月 6 日：工賃支給日
4 月 9 日：法人休業日
4 月 14、15 日：クレープテイクアウトレク
4 月 29 日（祝）：昭和の日

やっとコロナまん延防止等重点措置が解除されましたが全国をみるとまだまだ終息にはほど遠く、何とか早く収束して欲しいと願うばかりです。ロシアとウクライナの戦争においても早く終結し平和な日々が戻って欲しいものです。戦争の映像がテレビに映し出され、子どもたちの悲痛な泣き顔を見るのはとても辛く胸が締め付けられます。

3 月 11 日にはそんな思いも込め、東日本大震災犠牲者のご冥福と戦争で犠牲になった方々のご冥福を祈り施設関係者一同、午後 2 時 46 分黙とうを捧げました。

現在、施設ではシール貼り作業が忙しく行われています。食品表示シールで衛生面に注意を払いユニホームを着用し頑張っています。3 月 8・9 日、忙しい作業の癒しタイムとして町内で販売している「壺焼き焼き芋ブリュレ」をテイクアウトし休憩時間にコーヒーといただきました。いつもの焼き芋を想像していたのですが、全く違う食べ物で、焼き芋とカス



大震災犠牲者のご冥福と戦争で犠牲になった方々のご冥福を祈り施設関係者一同、



タードのマッチングした甘さ。「食べたことのない味～、美味しい。」と笑顔満開。「また明日から作業頑張ろう～」と意気込む皆さんでした。



（作業頑張ってます！）

今年度 2 回目となる防災訓練が 3 月 16、17 日「WORK ハウス」、「地域活動支援センターながま～」並びに各グループホームで実施されました。地震発生



後の火災を想定した訓練で、初期消火、消防署への通報応答、屋外への避難など万が一に備えあわてず行動できるよう訓練を実施しています。終わりに普段から靴の置き場所などの確認も大事と防災設備会社の方より助言をいただき訓練を終了しました。



コロナウイルスの脅威は時間が経ち、この状況に慣れてきてしまっている私たちもいます。知識が身に付き、気持ちが緩んだ時こそ一番危険です。「森町さくらまつり」が今年 3 年ぶりに開催される予定です。今一度一人ひとりが「新しい生活様式」を見直し適切な感染予防対策を実践しましょう。



文責 職務支援員 金谷孝己